

丘の大地

新
年
特
集
号



溢れる笑みに託す美瑛の未来

— 美瑛町立下宇莫別へき地保育所のみなさん —

年頭の ごあいさつ

協同理念を金科玉条に 自己改革と並行し組合員経済の向上を念頭に



代表理事専務

浦島 規生

組合員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、平成28年の営農は、融雪が平年よりも早かったものの、春作業は比較的順調な中でスタートし、その後、早ばつ傾向で農作物への影響が心配されましたが、刈取りのトップをきる小麦は順調に受け入れを終了し、秋の収穫にも期待が高まっていたところです。

しかしながら、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、JA共同施設の浸水、加えて収穫期後半の長雨、季節はずれの降雪が10月末、11月に断続的に発生し、本町でもこれまでに類を見ない自然災害による、大きな農業被害が発生しました。

被害に遭われました組合員の方々には、あらためて心よりお見



代表理事組合長

熊谷 留夫

舞いを申し上げます。

台風被災によるJA共同施設の復旧につきましては、先の第31回臨時総代会におきまして、組合員の皆様を始め総代各位の特段のご理解を賜り、特別対策による補助事業活用で、穀類乾燥調製施設復旧の目処が立ち、本年の操業に間に合わせるべく、現在急ピッチで準備を進めているところであります。

こうした複数の災害が発生した年ではありましたが、小麦は過去最高であった一昨年を上回る収穫量となるなど、区域内農業生産高見込みでは、計画比102%の114億4,400万円、交付金を含めて147億2,400万円となりました。

被災の影響にもかかわらずこうした実績をあげることができ、あらためて本町農業の底力を再認識すると同時に、組合員皆様のご努

力に、心から敬意と感謝を申し上げます。次第であります。

農業・JAをめぐる情勢であります。昨年は、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取りまとめ、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって、先行きの不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

中でも、物議をかもした「規制改革推進会議農業ワーキンググループ」が提言した内容は、JA事業の根幹を揺るがす危険な考え方であり、協同組合の原理・原則に対し、あまりにも無知であると一言わざるを得ません。

身近な内容では、クミカン制度の即時廃止、信用事業を営むJA

トピックス JAこの1年 TOPICS of year



地区懇談会



福富三愛農事組合の
合併祝賀会



新年交礼会



大雪さんろく倶楽部表彰

平成28年の暮明けは「今年も豊作年でありますように」と家族で願い、新年をスタート致しました。
 気象の経過としては、播種・定植期の高温や6月の低温・日照不足、8月の連続した台風の直撃がありました。これらは組合員の皆さんのほ場の流亡被害やJA生産施設への大きな打撃を与えました。加えて、早い時期の降雪は収穫作業や品質の劣化に追い打ちをかけ、辛い収穫

災害、TPP、農協つぶし

期となりましました。一方米国では新政権が誕生するということもあり、TPP交渉における拙速な判断は、危険な行為。だとして反対をしてみました。が、圧倒的な政府与党の数の論理で承認を余儀なくされてしまいました。また、規制改革推進会議の農協改革提言は「協同組織への自治と独立」を破壊させることが明白であり、協同組合の存続が危機に立たされています。目まぐるしく過ぎた一年間を振り返ってみたいと思います。

2016年の動き

～事業を振り返って～

- | | | |
|----|------------------|-----|
| 1月 | ■ 仕事始め／豊穰・安全祈願祭 | 6日 |
| | ■ 新年交礼会 | 6日 |
| | ■ とまと生産部会定期総会 | 21日 |
| | ■ 豆作生産部会冬期研修会 | 21日 |
| | ■ 業務委員会 | 25日 |
| | ■ 年金友の会湯治 | 25日 |
| | ■ 福富三愛地区合併祝賀会 | 27日 |
| | ■ 営農技術研修会 | 28日 |
| 2月 | ■ JAびえいゲートボール杯 | 1日 |
| | ■ フレッシュユミセス会定期総会 | 5日 |
| | ■ メロン生産部会定期総会 | 5日 |
| | ■ 女性部定期総会 | 8日 |
| | ■ 青年部定期総会 | 9日 |
| | ■ 稲作生産部会定期総会 | 10日 |
| | ■ 麦作生産部会定期総会 | 12日 |
| | ■ 白金アスパラ生産部会定期総会 | 15日 |
| | ■ 種子馬鈴薯生産組合定期総会 | 16日 |
| | ■ 馬鈴薯生産部会定期評議委員会 | 17日 |
| | ■ 豆作生産部会定期総会 | 18日 |
| | ■ 大根生産部会定期総会 | 26日 |
| | ■ 報徳社定期総会／実践農業講座 | 26日 |
| | ■ 農民連盟定期総会 | 27日 |



雪△口馬鈴薯
掘り出し



第65回
通常総代会



年金友の会定期
総会



H28 新農業人激励
のつどい



あぐりスクール in びえい



組織活動交流会

- | | | |
|---|---|--|
| <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新農業人激励のつどい 6日 ■ 新規採用者農家実習 13日まで 9日 ■ 美瑛神社奉告祭 16日 ■ 肥料選定会議 20日 ■ 上川中央部農協経営研究会総会 23日 | <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 朝会（新期採用者辞令交付） 1日 ■ 養豚生産部会定期総会 1日 ■ 第65回通常総代会 5日 ■ 白金クレー射撃場竣工式 11日 ■ 年金友の会定期総会 14日 ■ 共済推進決起大会 21日 ■ 穀類乾燥調製施設増強工事安全祈願祭 27日 | <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ニンジン生産部会定期総会 1日 ■ 第61回地区懇談会 4日まで 3日 ■ 百合根生産部会定期総会 7日 ■ 新農業人研修修了証書授与式 7日 ■ 満値喜市 24日まで 23日 ■ 酪農振興部会定期総会 29日 ■ 酪農婦人部定期総会 29日 ■ 朝会（退職辞令交付） 31日 |
|---|---|--|



台風により崩落した九線橋



どかんと農業まつり



美瑛彩レストランなごみの森厨房オープン



与党農水省災害対策WT



JA農業センター新外壁

- | | | |
|---|---|--|
| <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■どかんと農業まつり 20日 ■道中央会飛田会長ほか被災状況確認来町 26日 ■百合根消流懇談会 26日 ■衆議員議員・振興局被災状況確認 26日 ■副知事・旭川開発建設部ほか被災状況確認 29日 | <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■美瑛町異業種人材育成研修中間報告会 2日 ■びえいチャリティライブ 2日 ■美瑛町郷土学館「美宙」オープン記念式 9日 ■穀類乾燥調製施設運営合同会議・安全祈願祭 11日 ■組織活動交流会 13日 ■ライスセンター受入式 19日 | <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ■酪農・養豚合同黙魂祭 6日 ■新区画ダム通水式 8日 ■年間生乳2万キロ突破牛輩出を祝う会 8日 ■びえいヘルシーマラソン開会式 12日 ■美瑛彩レストランなごみの森厨房オープン 13日 ■招魂祭 15日 ■馬鈴薯生産部会フィールドデイ 22日 ■しらがねダム通水式 30日 |
|---|---|--|



ホクレン移動販売車
スタート



組合員還元玉ねぎ・
馬鈴薯詰め放題



組合員宅一日一斉皆訪問



第31回臨時総代会



ジャンボ巻きずし作り

9月

- 農政事務所被災状況確認 2日
- 加工玉ねぎ被災圃場現地確認 7日
- 台風被災に関わる町へのJA・農運合同要請 15日
- 美瑛町開拓記念式典 15日
- コメ初検査 17日

10月

- JAグループかみかわ秋の大収穫祭2016 10日
- 美瑛高校インターンシップ受入 18日

11月

- 学校給食のコメ・パン贈呈 9日
- 中学生テーブルマナー講習会 10日
- 農協法公布記念朝会（組合員宅
皆一斉訪問・記念講演） 18日
- 組合員還元イベント 18日
- 第31回臨時総代会 30日

12月

- ホクレン移動販売車スタート 1日
- 第43回集落代表者研修会 1日
- 町へ鏡餅進呈 29日
- 仕事納め 30日

明日を担う

美瑛町字五稜第1

まつむら よしあき
松村 義昭 さん

(31歳)

(北台・旭ブロック)

自然の力は偉大 異常を思い知らされて

年間百万人を超える観光客が美瑛町を訪れています。農業景観が織りなす牧歌的な丘の風景は人々の心を魅了して離さず、幾度となく訪れる方も多いそうです。

その美瑛町の景観資源を培っているのは何と云っても農業者です。農業生産を「業」とする健全な農業の営みがあつてこそ、豊かな表情を見せる持続可能な景観としての価値が生まれます。美瑛の「明日を担う」若い力を紹介します。



私の農業経営は畑作専業で約35畝の耕作面積です。妻と3人の子どもの父の家族構成で典型的な家族経営です。作付品目は麦類が主体となっております。作付品目は馬鈴薯・大豆・赤えん豆・加工用のカボチャ・アスパラなども耕作しています。

十勝のような大型面積は有しておりませんが、作付の規模から見ると土地利用型の形態となっております。

農業は作付品目を育てるのが基本です。農産物は毎日天候推移はともなになりません。

特に昨

年は、異常な天候で今までに経験のないことこの連続でした。春先の気候は比較的順調でしたが、その後の低温、降雪によって辛い作業を余儀なくされました。

北海道を襲った台風は美瑛町を始め多くの地域に大きな被害をもたらしました。私にとっても一生忘れられない年になりました。8月19日以降に発

生した台風7号、11号、9号の3つの台風上陸は、記録的な猛威を振るいました。わが家の馬鈴薯畑も約70アほど冠水被害にあい、その後の収穫作業は本当に苦労しましたね。

私の住宅の近くの美瑛川が氾濫したため、近隣の酪農家の方も冠水害を受けてしまいました。

美瑛川の濁流は尋常でなく、大きな流木は河岸の立木をなぎ倒し、水の力の恐ろしさを、目の当たりにしました。人間の力ではどうしようも

ない自然の猛威を感じまし

た。こんな光景は二度と見たくないですね。

美瑛町も地域によっては甚大な被害となつてしまいましたが、一日も早い復旧を願っています。

そして収穫期の天候不順も辛い仕打ちでした。今年は10月16日以降までもな天候が続きませんでした。

例年よりほぼ一ヶ月も早い初雪が

大切な地域と仲間の絆

～ふれあい交流会～ 地域の仲間の絆強く 〔広がれ交流の輪〕

JA青年部・フレッシュユミセス会ふれあい交流会が12月17日、JA3階大ホールにて開催されました。

この交流会は、両部会員はもちろん、組織未加入者や同世代のJA職員との親交を深めようとしたもの。昨年からは始まったこの企画には70名の参加者が集まり、賑やかな会となりました。

会場には町内外のオードブルや焼き立てのピザ、スイーツが並び、子どもたちも大喜び。余興ではマシュマロとパスタで高さを競うゲームや豪華景品（一等はPS4）が当たる抽選会が行われました。

藤原よしみ会長は「この機会に温かい雰囲気を感じて頂いて、組織活動に参加してもらえれば」と話していました。



マシュマロとパスタのゲーム



おいしい料理がたくさん



子ども抽選会



大抽選会

結果的には根雪になってしまいました。18歳から農業に従事していますが、こんな経験は初めてです。農業はもちろん継続して行きますが異常気象のない安定した天候を望んでいます。私の耕作地は傾斜地が多い土地条件で、どうしても小麦に頼ってしまいがちですが、地元の加工食品会社向けの加工用カボチャに取り組んでいます。農協が生産者所得の向上策のひとつとして作付推進をすることも手伝って出荷をしています。しかしながら「人手不足」が面積拡大の障害となっております。

それに麦の作付けが多いものですから輪作をきちんと心がけなければと思います。豆作にも着目して面積拡大を考えています。

豆類は夏作の「赤えん豆」類と大豆を積極的に取り組もうと考えており、平成28年は汎用型のコンバインを上手に活用できたと思っています。地域の方と共同で作業をしています。が、赤えん豆はタイミンが良く収穫でき、全量農協出荷をさせてもらいました。また、黒大豆も結構な面積を作付していましたが、早い根雪に悩まされる前に収穫できたことは本当にラッキーでした。こんな時代で

すので豆類も安心して作付・出荷できる契約栽培的なもの、予め価格の目安が見込めるものがあれば生産にも励みになるのではないかと考えています。

農協や青年部組織一丸となって反対の声を挙げていたTPPもとうとう国会の承認がなされてしまいました。今後の情勢は混沌としています。が、北海道農業、とりわけ美瑛農業にも少なからず影響が出てくるのは必至だと思っています。

青年部では、北台・旭ブロックに所属して活動しています。地域的に若い後継者が少ないものですから寂

しさもあります。組織活動を通じて交流や情報の交換にはとても役立っています。仲間の絆は大変に貴重なものだと思います。

子供の成長もとても楽しみで、将来は自分の好きな道を歩んで行って欲しいと思っています。2男1女です。どちらかが農業を継いで欲しいという気持ちはあるのですが、親の考えを押しつけず、本人次第で自分の道を「拓いて」欲しいと思っています。

「子供は親の背中を見て育つ」との言葉もありますので、子供の手本となるような親になりたいと思います。



大雪地区 普及センター 農業改良

営農ガイド

EINOI GUIDE

平成28年は、5月の高温、強風に始まり、6月の低温日照不足、8月の台風と、気象に翻弄された1年となりました。台風で被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

さて、農林水産省が12月2日に発表した道内の水稻作況指数は、102の「やや良」となりました。平年を上回るのは6年連続のことです。

平成28年の水稻をふりかえて

一方、農家の皆さんからは、収量は「平年並」や「やや少なめ」であり、「歩留まりが悪く屑米が多い」との声も多く聞かれました。品質は、高タンパク化や白未熟粒の混入で低下する傾向でした。

平成28年の収量・品質に与えた要因と次年度に向けた対策をまとめましたので参考にしてください。

1 収量は「平年並」や「少ない」

収量が少ない場合には、「分けつが不足し収量が低下した場合」と、「屑米が多く歩留まりが低下した場合」の二つが考えられます。

(1) 分けつ不足の要因

「ななつぼし」を中心として、移植直前の高温による徒長・老化苗の移植、移植直後の強風の影響が大きいと考えられます。

徒長した苗は風に弱く葉枯れ症状が強くなりました。

早期異常出穂が育苗日数では30日以上でみられ、特に40日以上では株元で出穂するなど症状が強くなりました。育苗様式にかかわらず多く発生しました。育苗日数は30日を目標としましょう。

強風のため浮き苗防止から深植えになった事例もありました。植付深度は分けつの発生にシビアに影響します。強風時の無理な田植えは避け

ましょう。

(2) 歩留まり低下の要因

「ゆめぴりか」では、分けつ過剰の影響が考えられます。

特に、5月23日以前に移植した水田は活着が良かったために、7月の好天でさらに茎数が増加した可能性があります。

穂数型の「ゆめぴりか」は、茎数が増加しやすいので、初期生育が確保できたら速やかに深水管理に移行することが重要です。

2 タンパクは「やや高め」

全道的にもタンパクは高い傾向でした。美瑛町の低タンパク米出荷比率は、「ななつぼし」15.3%、「ゆめぴりか」は27.1%(7.4%以下を含めると87.6%)と低タンパク米の出荷率は、昨年よりも低くなりました。

6月の低温で初期に窒素が効かな

かったうえ、7～8月の好天で窒素が遅れて効いたためと考えられます。特に出穂期頃の高温はタンパクへの影響が大きいとされています。

3 白未熟粒が多い

全道的にも白未熟粒は多い傾向でした。美瑛町では「ゆめぴりか」で多い傾向でした。

白未熟粒は、「未熟」の名のとおり、澱粉の詰まりが悪く白く濁って見える症状です。

白く見える部位によって、「乳白」、「腹白」、「心白」、「背白」、「基部未熟」と分類されます。平成28年は心白が多く、次いで腹白が多く見られました。

本州では、白未熟粒は高温障害とされていますが、北海道では発生事例に乏しく、研究が進んでいません。発生要因も複雑なため発生を予測しにくい障害です。

(1) 気象条件によるもの

北海道の過去の事例では、高温というよりも夜温が高いことと、日照不足とが同時におこる場合に発生しやすいようです。

平成28年は台風の影響で8月4～5半旬が日照不足かつ夜温が高い条件でした。

(2) 品種間差によるもの

「ふくひりたか」や「きたくりた」は発生が多い品種です。

「ゆめぴりか」と「ななつぼし」では「ゆめぴりか」で多い傾向です。

(3) 栽培条件によるもの

「窒素過多(分けつ過剰)」、「干ば

表1 大雪地区作況ほ収量構成要素及び収量

成苗ななつぼし	平成28年	平年	対比 (%)
m ² 当穂数 (本)	517	616	84
一穂粉数 (粒)	52.2	54.4	96
m ² 当総粉数 (粒)	27,023	33,559	81
稔実歩合 (%)	96.4	94.7	102
m ² 当稔実粉数 (粒)	26,045	31,783	82
千粒量 (g)	23.1	22.9	101
精玄米重 (kg/10a) (篩目1.9mm)	613	649	94

※粉数が少なく、収量は劣った

4 次年度に向けて
 水稻生産費を算出しよう！
 「我が家は、米1俵を作るのにいくらかかるのか」を知ることが、今後の稲作経営の舵取りを行う上で大変重要です。

つ、「登熟後半の窒素不足（基部未熟粒のみ）、「刈遅れ」などで多発します。
 平成28年は、7月の好天による「分けつ過剰」が白未熟粒の発生を加速させた可能性があります。
 ただし平成28年に多かった「心白」は、強勢穎花で発生するので適期収穫でも取り除くのは困難です。
 (4) 病害によるもの
 いもち病や紋枯病でも発生が多くなります。平成28年は、いもち病は無かったので、「隣の農家は一等なのに我が家だけ白未熟粒で落等」といった場合は、紋枯病の発生も疑い水田を良く観察しましょう。

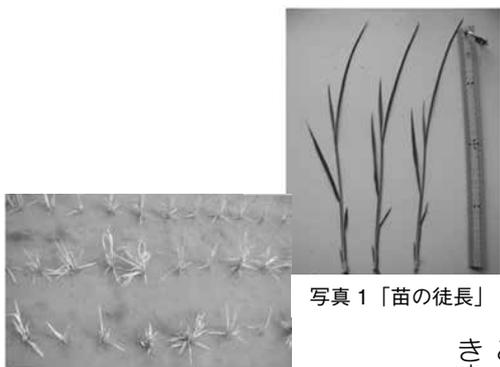


写真1「苗の徒長」

写真2「強風による葉枯れ」
 徒長苗ほど枯れた (5/30撮影)

平成30年からは、国内の米生産は新たな局面を迎えます。国による生産調整が廃止され自由作付の時代となります。北海道は独自の需給調整を行うことですが、全国的には、生産過剰や産地淘汰もいなめません。より市場や消費者のニーズにあった米作りが求められます。
 今後は、高齢化や後継者不足によって一戸あたり水稻面積は増加する傾向です。美瑛町でも15〜20畝規模が増えつつあります。省力化やさらに面積を拡大するため新たな機械・施設投資を行う場合には再投資の見極めが必要となります。
 米は、他の作物に比べ高コストな作物です。我が家の水稻生産費を知ることが、今後の経営展開の手助けとなります。ぜひ、今冬にチャレンジしてみてください。
 なお、北海道の米生産費（10^ア当たり、1俵当たり、規模別）は、農林水産省のホームページで確認することができます。



写真3「ようやく、分けつ発生」
 6月19日からの天候回復と共に、3、4、5葉目からの分けつが一斉に発生。(6/20撮影)

表2 作業期節 及び 生育期節

<作業期節 : 大雪地区(3町)>

項目	は種始	は種期	は種終	移植始	移植期	移植終	収穫始	収穫期	収穫終
本年	4月13日	4月17日	4月23日	5月17日	5月21日	5月26日	9月17日	9月25日	10月5日
平年	4月12日	4月17日	4月22日	5月19日	5月23日	5月27日	9月12日	9月19日	9月28日
差	遅1	0	遅1	早2	早2	早1	遅5	遅6	遅7

<生育期節 : 大雪地区(3町) 成苗ななつぼし>

項目	出芽期	活着期	分けつ始	幼穂形成期	止葉期	出穂始	出穂期	出穂揃	成熟期
本年	4月24日	5月25日	6月7日	6月29日	7月18日	7月24日	7月29日	8月2日	9月14日
平年	4月23日	5月27日	6月4日	6月25日	7月13日	7月19日	7月24日	7月28日	9月11日
差	遅1	早2	遅3	遅4	遅5	遅5	遅5	遅5	遅3

※6月の低温の影響が、成熟期まで響いた。



写真4「早期異常出穂」
 7月中旬、親穂が株元で出穂移植が遅いほど、影響が大きかった(5月3〜6半旬の高温の影響)



写真5「台風による倒伏」
 倒伏した場合には収量品質が低下



写真6「腹白」
 2番目に多かった



写真7「心白」
 白未熟粒のうち最も多かった

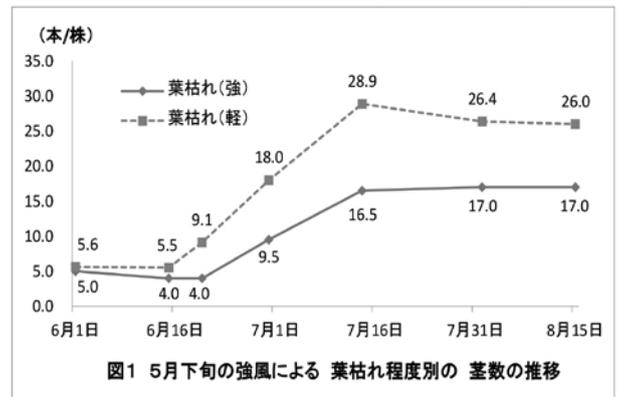
表3 平成28年の気象が生育に及ぼした影響

時期	5月3〜6半旬	5月5〜6半旬	6月1〜4半旬	7月全般	7月下旬〜8月上旬	8月4〜5半旬
気象	高温多照 20℃超が18日間 (5/19〜23は25℃超)	強風 (風速10m/s超4日間)	低温日照不足 (日照0〜2h/日が11日間)	やや高め の気温と多照	高温多照	高温日照不足 (台風の影響)
生育への影響	苗の徒長・老化 分けつ不足 早期異常出穂	葉枯れ (特に徒長苗) 深植え	生育停滞 苗代分けつ減少 高タンパク化	分けつ回復 分けつ過剰で 屑米多	高タンパク化	白未熟粒多発 浸冠水害と倒伏
対策	育苗日数の短縮 (目標30日)	強風での 移植避ける		茎数に応じた 深水管理		

表4 5月下旬の強風による葉枯れ程度別の収量構成要素(美瑛町、成苗ゆめびりか、株当たり3本植、同一圃場内での比較)

		葉枯れ(強)	葉枯れ(軽)	差	
穂数	(本/株)	17.0	26.0	△ 9.0	
	(本/m ²)	381	582	△ 201	
一穂粉数	(粒)	47.7	51.9	△ 4.2	
総粉数	(粒/株)	805	1,347	△ 542	
	(粒/m ²)	18,032	30,173	△ 12,141	
推定	千粒重	(g)	23.7	23.7	0.0
	登熟歩合	(%)	85%	85%	0.0
	精玄米重	(kg/10a)	363	608	△ 245

※葉枯れ(強)の株は、7月の好天でも莖数は挽回できなかった。粉数も不足した。



野菜

平成28年は、融雪が早まりました。4月中旬は曇天でしたが5月は気温が高く推移しました。6月は低温、曇天となり、各作物の生育遅れの要因となりました。7月から8月は気温が高くなりましたが、連続した台風の影響の後多湿条件が続き、農作物の管理に苦労した一年となりました。

果菜類

1 トマト

(1) 促成・半促成作型

4月下旬から5月上旬までの好天により着果・肥大は順調で、共選は例年より10日程早く5月16日の開始となりました。気温が高く果実の肥大が急速に進んだことや、融雪が早く初期の土壌水分が不足気味に推移した影響もあり、尻腐れ果が低段位に見られました。

(2) 抑制作型

5月21日以降の定植となる抑制作

型は、促成・半促成栽培同様に土壌水分が少ない状況でのスタートとなり、低段位で尻腐れ果が多く見られました。

全体で平成28年度は前年対比約115%となりました。また、8月下旬の台風により浸水した圃場が見られましたが、防除や換気等の管理により生育障害や病害の拡大を最小限に留めることができました。

(3) 病害虫

病害は、6月上旬から下旬の曇天と降雨が多くなったことにより、8

月中旬以降、灰色かび病の発生が多くなりました。害虫は、アザミウマ類の発生が6月中旬と7月上旬から下旬にピークがあり、平成27年と同様の発生でした。

2 スイートコーン(生食用)

は種作業は例年よりも早く5月中旬から行われました。出芽は順調でしたが、6月の低温と曇天により生育は遅れました。その後、7月上旬から気温が高く推移しましたが、収穫は平年よりやや遅れて8月中旬より始まりました。

細身でポリウムがやや劣り、また先端不稔が多く見られました。

3 さやいんげん

は種時期は前年並の5月20日頃から始まりました。

出芽後の生育は、6月の低温、曇天により、遅れが見られました。7月上旬以降、天候回復があったものの収穫時期は平年より遅く7月30日頃から始まりました。

病害虫はタネバエの被害により一部で欠株の多い圃場もありました。莢数は平年並みでしたが、一部圃場で欠株が見られたものの前年より多収となりました。

葉茎菜類

1 ゆりね

4月下旬からの好天により初期生育は順調に経過しました。その後、6月の低温と曇天、8月の台風で地域により短時間に強い降雨が見られたものの、相対的に玉肥大は順調に経過しました。

目立った病害虫の発生はありませんでしたが、葉先枯れが一部で見られました。また、鱗茎さび症、あんこ症の発生が若干見られました。

2 たまねぎ

融雪が早く、直播は早い圃場で4月下旬に始まりました。移植は5月中旬から圃場条件が良好な中で作業が進められました。直播は比較的順調に出芽期を迎えました。生育は低温、少雨の影響を受け、遅れたものの球肥大は良好でした。倒伏期は移植で7月下旬～8月上旬、直播で8月中旬となり、14日後を目処に肥大状況を確認しながらの根切り作業となりました。

収穫は、移植では9月上旬から始まりましたが、直播では天候不順の影響もあり、9月下旬からの収穫となりました。

病害虫は地域によって、アザミウマ類の被害が見られ、移植栽培では一部に白斑葉枯病の発生が目立ちました。

洋菜類

1 グリーンアスパラガス

融雪後、4～5月の好天により収穫は5月中旬から始まりました。しかし、5月下旬～6月上旬の低温によるアントシアンの発生や5月中下旬の強風による影響で曲がりや一部でありました。収穫は6月下旬まで行われましたが、低温の影響もあり、前年より収穫量は減少しました。

病害虫は、収穫期間中、シユウシホシクビナガムシの食害が散見さ

れ、ヨトウガの食害はやや多い状況でした。また、斑点病の発生は少ない状況でした。

2 プロットロー

融雪が早かったこともあり、定植時期は例年より早く進みました。しかし、6月の低温による生育の遅れとともに不整形花蕾が多く見られるなど品質に影響が見られました。8月下旬以降に収穫を迎えた作型では長雨や台風による湿害の影響が見られ、花蕾腐敗病、軟腐病が多くなりました。

害虫ではヨトウムシの発生量は少なくコナガは多い傾向となりました。



畑作

平成28年度は、10月の長雨、早期積雪で平年より23日も早い11月3日に根雪始となり、大豆やばいしょ、てんさいなどご苦労されながらの収穫となりました。平成28年度を振り返るとともに、次年度に向けた取組みを冬期間中に検討願います。

現在、懸念されることは、①秋まき小麦の雪腐病、②は種床等造成時の碎土性の不良等です。考えられる対策は、融雪促進による根雪期間の短縮を図り、停滞水の除去とともに圃場の早期乾燥化を促すことです。春以降の作業が良い条件で進められるように併せて検討願います。

1 秋まき小麦（きたほなみ）

(1) 越冬後の生育

融雪期が4月3日と平年より8日早くなり、起生期も6日早まりました。4月末の一時的な低温・少雨で、生育はやや停滞しましたが、幼穂形成期は4日早くなりました。5月中旬から下旬にかけての高温で止葉期は7日早まりましたが、6月上旬の低温で出穂期は概ね平年並となりました。しかし、出穂や開花揃い期間を要し、生育は徐々に遅れ、成熟期は2日遅れとなりました。

草丈、稈長は生育期間がやや長くなったこともあり平年を上回りました。茎数・穂数は起生期追肥後の降雨により肥効が高まり、平年より多くなりました。

(2) 病害虫の発生状況

うどんこ病は幼穂形成期の早い時期から見られ、発生量も多くなりましたが、上位葉への発生には至りませんでした。赤かび病は6月の出穂開花前後の曇天で、一部圃場で確認されましたが、大きな被害にはなり

ませんでした。また、連作圃場では、眼紋病の発生による倒伏や立枯病の発生が見られました。

表1 秋まき小麦の生育期節・農作業期（美瑛町作況）

項目	生育期節				農作業期			
	起生期	幼穂形成期	出穂期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終	収穫期間
本年	4月14日	5月7日	6月7日	7月23日	7月25日	7月31日	8月5日	11日間
平年	4月20日	5月11日	6月8日	7月21日	7月23日	7月27日	8月2日	10日間
遅速	早6日	早4日	早1日	遅2日	遅2日	遅4日	遅3日	遅1日

表2 秋まき小麦の収量構成要素（美瑛町作況）

項目	㎡当り	1穂粒数	千粒重	子実重
	穂数(本)	(粒)	(g)	(kg/10a)
本年	609	33.8	43.9	904
平年	564	31.1	40.3	642
平年比(%)	108	109	109	141

※1穂粒数・千粒重は2.3mm篩い以上

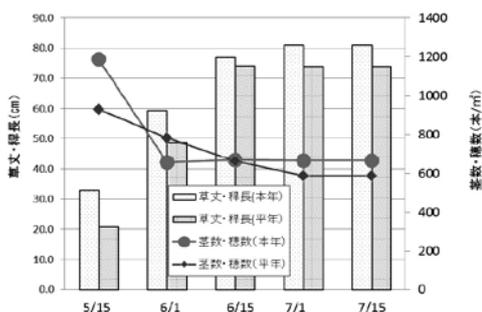


図1 秋まき小麦の生育経過

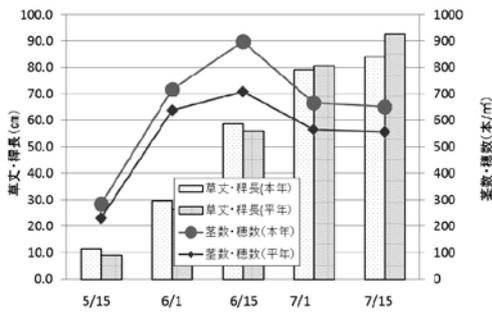


図2 春まき小麦の生育経過

(3) 作柄に影響を及ぼした要因
 追肥効果が発揮され穂数の増加が見られたこと、乳熟期から成熟期の気温の日較差（最高気温－最低気温）が大きく千粒重が重くなったこともあり、昨年を引き続き平年を大きく上回る収量となりました。また、倒伏が少なく、適期適量は種と春以降の適正な施肥管理等の実践が高収量に結びついたものと考えられます。

表3 春まき小麦の生育期節・農作業期

項目	農作業期			生育期節				農作業期			
	は種始	は種期	は種終	出芽期	止葉期	出穂期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終	収穫期間
本年	4月22日	4月27日	5月2日	5月7日	6月12日	6月24日	8月7日	8月7日	8月10日	8月12日	5日間
平年	4月18日	4月23日	4月27日	5月6日	6月12日	6月21日	8月4日	8月4日	8月8日	8月13日	9日間
遅速	遅4日	遅4日	遅5日	遅1日	±0	遅3日	遅3日	遅3日	遅2日	早1日	±0

表4 春まき小麦の収量構成要素(美瑛町作況)

項目	m ² 当り	1穂粒数	千粒重	子実重	製品歩留
	穂数(本)	(粒)	(g)	(kg/10a)	(%)
本年	652	23.5	38.6	502	85
平年	556	24.4	40.3	535	98
平年比(%)	117	96	96	94	87

※1穂粒数・千粒重は2.3mm篩い以上

3 小豆(きたのおとめ)
 (1) 生育の経過
 5月は少雨で経過したため、は種期はほぼ平年並となりました。出芽期は平年並ですが、乾燥状態が続いた圃場では出芽のバラツキが見られました。6月の低温により初期生育(草丈・葉数)は遅れ、開花期では7日遅くなりました。開花後、8月前半は高温で経過しましたが、降雨の少ない乾燥条件とともに、8月4日からの降水量は31.9mmとなり平

れ、止葉期は平年並となりました。6月の低温により出穂期は3日遅れ、7月の少雨傾向もあり、生育は停滞し、成熟期も3日遅れとなりました。草丈は6月まで平年を上回る傾向でしたが、7月以降の少雨により稈長は短くなりました。初期の段階から分けつが進み、茎数・穂数は平年より1m²当たり100本多くなりました(13ページ図2)。
 (2) 病害虫の発生状況
 うどんこ病は平成27年と同様、出穂前から発生し、防除対応により抑制することができました。ムギキモグリバエは少なく、一部圃場でムギクロハモグリバエの発生が止葉を中心に見られました。
 (3) 作柄に影響を及ぼした要因
 分けつが促進され、茎数・穂数が多くなりました。止葉期から出穂期までの生育日数が長くなったことで、例年、遅れ穂となるものが有効化したため、千粒重の低下に伴い歩留低下となりました(表3)。

融雪は早まりましたが、4月中旬の降雨で、は種期は平年より4日遅れました。は種後、気温が高く推移したため、出芽期は平年より1日遅

2 春まき小麦(春よ恋) 生育の経過

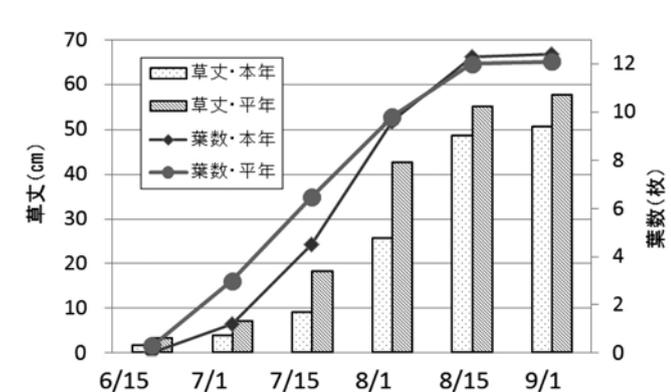


図3 小豆の草丈・葉数の推移

年(77mm)の4倍となり、成熟期は平年より6日遅れました。
 初期生育が遅れ、開花後の生育後期は乾燥条件となったため、葉数は確保できましたが、草丈は平年を下回りました。
 (2) 病害虫の発生状況
 7月末の降雨以降、一時的に過湿になったほ場では、茎疫病が多くなりました。菌核病、灰色かび病は少ない状況でしたが、8月中旬以降の多湿条件で成そ病が多くなりました。ツメクサガ等の鱗翅目害虫は平年より少なく推移しましたが、アブラムシは多くなりました。
 (3) 作柄に影響を及ぼした要因
 開花から25日後までに莢数が決定されますが、降水量が平年の3倍と

表5 小豆の生育期節・農作業期

項目	農作業期	生育期節			農作業期
	は種期	出芽期	開花期	成熟期	収穫期
本年	5月25日	6月7日	7月30日	9月13日	10月5日
平年	5月24日	6月7日	7月23日	9月7日	10月2日
遅速	遅1日	±0	遅7日	遅6日	遅3日

表6 小豆の収量構成要素

項目	主莖節数	m ² 当莢数	一莢内粒数	百粒重(g)	収量(kg/10a)
本年	13.4	344	6.1	10.8	254
平年	12.9	440	6.0	12.2	278
平年比(%)	104	78	102	89	91



写真1 積雪状況での大豆収穫跡

多かつたため落花等もあり莢数は少なく、過湿状態となったため登熟にも影響し、百粒重は小さくなりました。

4 ばれいしょ (男爵)

(1) 生育の経過

4月下旬が少雨に経過したことか
 ら、植付作業は平年より2日早く始
 まり順調に進みました。5月は気温
 が高めに推移したため、萌芽期は5
 日早くなりました。6月は一転、低
 温・曇天傾向もあり茎長は長くなり
 ましたが、着蕾期はほぼ平年並とな
 りました。7月は概ね平年並に経過
 し、茎葉黄変期は平年より1日遅れ
 ました。

8月は台風もありましたが、掘取
 り可能な圃場から随時進み、平年よ
 り3日早く収穫期となり、その後、
 長雨と早期積雪により非常に苦労し
 た年次となりました。

(2) 病害虫の発生状況

6月の低温曇天傾向は、疫病の発
 生しやすい環境となり、前年、発生
 した近隣圃場では早く確認されまし
 た。軟腐病の発生も平年より多くな
 り、塊茎形成期前後の多湿条件で多
 くなる粉状そつか病が男爵を中心に
 見られました。

(3) 作柄に影響を及ぼした要因

着蕾から開花までの塊茎形成期に
 は、土壌水分が確保できたため、平
 年よりも数が多くなりました。8
 月1日現在では平年よりも1個重が
 大きい状況でしたが、上旬の少雨の
 の影響もあり塊茎の肥大は緩慢にな
 り、早生系の品種にとつては後半の
 肥大には不利な条件で、平年並の1
 個重となりました。

(4) 次年度の対応

疫病は、「ばれいしょ疫病初発生

表7 ばれいしょの生育期節・農作業期（美瑛町作況）

項目	農作業期	生育期節					農作業期
	植付期	萌芽期	着蕾期	開花期	終花期	茎葉黄変期	収穫期
本年	5月10日	5月27日	6月14日	6月28日	7月13日	8月8日	9月15日
平年	5月12日	6月1日	6月15日	6月28日	7月13日	8月7日	9月18日
遅速	早2日	早5日	早1日	±0	±0	遅1日	早3日

表8 ばれいしょのいも数・1個重（男爵）

項目	株当しいも数	しいも1個重
本年	11.6	97
平年	9.2	96
平年比(%)	126	101

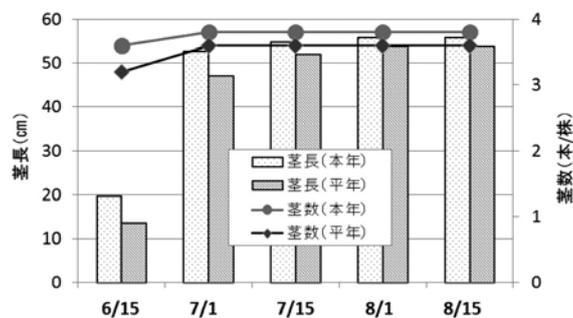


図4 ばれいしょの生育経過（美瑛町作況ほ場）

5 てんさい

(1) 生育の経過

予測システム（FLABS）を参考に、
 効果的な薬剤を活用した初期防除を
 徹底することが重要です。
 粉状そつか病は、土壌菌であるため
 輪作の励行とともに、多湿条件で発
 生を助長しますので排水対策の実施
 や懸念される場合は、植付前の殺菌
 剤散布の検討が必要です。

は種作業は、移植時期から逆算し
 て実施するため平年並となりました。
 移植作業は、4月下旬より始まりま
 したが、少量ではあったものの降雨
 により、移植期は平年より2日遅く
 となりました。5月上旬から下旬にか



写真2 1ヶ月早い積雪で苦労した馬鈴しょ収穫
 （株カルビーポテト提供）

けて高温で経過したため活着は比較
 的良好でしたが、中旬の風害により
 一部地域で生育停滞が見られました。
 6月上旬から7月にかけて平年より
 気温がやや低く推移したため根肥
 大はやや緩慢な時期もありましたが
 概ね平年並に経過しました。生育後
 半の8月上旬は少雨、中旬以降は台
 風により降水量が多くなりましたが、
 気温が高く経過したため、根周は平
 年並となりました。

収穫期は早くなりましたが、10月
 下旬以降の降雨や早期積雪により、
 収穫終は、平年より12日遅れの11
 月9日となりました。なお、積雪状態
 の中、収穫時に畦を見極めるための
 工程（クローラトラクターによる走
 行路の確保）等の前処理後、堅めの
 クリーナーを装着等、工夫をしなが
 らの収穫となりました。

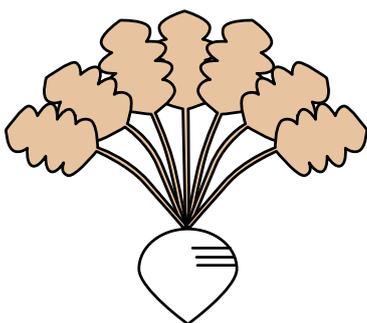


表9 てんさいの農作業期

項目	は種期	移植始	移植期	移植終	収穫始	収穫期	収穫終
本年	3月14日	5月2日	5月9日	5月15日	10月15日	10月18日	11月9日
平年	3月15日	5月2日	5月7日	5月15日	10月10日	10月23日	10月28日
遅速	早1日	±0	遅2日	±0	遅5日	早5日	遅12日

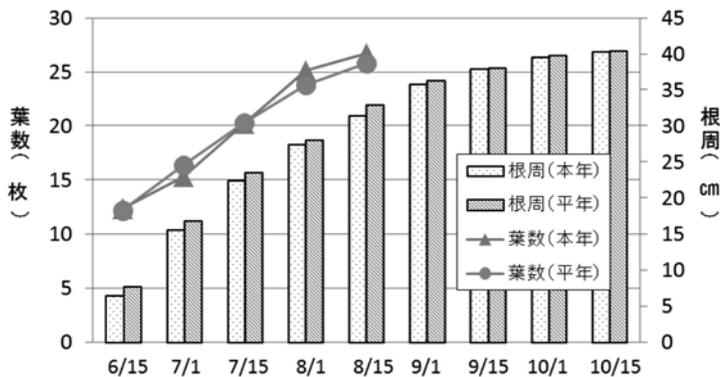


図5 てんさいの生育経過

表10 てんさい生産実績と積算気温

項目 年次	根重 (kg/10a)	根中糖分 (%)	糖量 (kg/10a)	移植期～6月下旬 積算平均気温 (°C)
平成24年	6,702	14.8%	992	790
平成25年	5,823	16.2%	942	677
平成26年	6,802	17.4%	1472	900
平成27年	6,934	17.3%	1196	826
平成28年	6,747	16.1%	1,086	839
平年	6,103	16.4%	1,005	748
平年対比	111%	98%	108%	+91°C

※根重、根中糖分は美瑛町平均(日本甜菜調)

(2) 作柄に影響を及ぼした要因
 移植～6月下旬までの気温が高いと初期生育の確保から根重が重くなる傾向があります。また、8月以降の気温上昇、多雨、日照不足は糖分の低下を招きます。
 糖分は気温や降雨の影響から前年

よりやや低くなりましたが、全般を通して病害虫の被害も少なく、初期生育も概ね平年並に確保できたことから根重は平年の111%、糖量で108%と多収年となりました。
 春先の風害や台風、秋の長雨、早期積雪等の影響もありましたが、生産者の方々と地域の方々の協力により高収量となりました。次年度も高収量高糖分に向けて、春先の圃場の乾燥化を進めるため融雪促進を図り、圃場条件の良好な状態で移植作業ができるように準備を進めましょう。



写真3 てんさいの収穫作業

お天気カレンダー

スノーアッフル

冬の日本海側は、世界の中でも雪の量が多い地域です。冬の間、農作業ができない地域もあります。でも、雪がたくさん積もっていることを逆手に取った農産物もあります。

リンゴの生産が盛んな長野県の菅平(すがだいら)では、11月から4月にかけて雪が降りやすく、1m以上の雪が積もることもあります。その菅平では、秋に収穫したリンゴを雪の中で保存し、春に販売するものがあります。その名もスノーアッフルです。雪の中は温度が0度から1度くらい、湿度は90%に保たれます。温度が0度くらいでもリンゴは凍ることはありません。冷蔵庫に保存するよりも、みずみずしさが保たれ、甘味も濃くなる(Snowy Apple)。

「雪下リンゴ」など、雪の下で甘味を増す農作物は他にもあります。電気も使わず、エコな保存方法で、春にもおいしい果物や野菜が食べられたらいいですね。



本年もよろしく お願い致します

支所長

川口 招 宏

地域第一係長

外山 直 樹

地域第二係長

伊與田 ま や

指導主任

田中 米 子

専門普及指導員

吉田 純 子

専門普及指導員

岡元 克 憲

専門普及指導員

新井 菊 江

専門普及指導員

工藤 淑 郎

調査員

遠藤 成 典

普及職員

中野 寛 之

(敬称略)

年頭のごあいさつ



知恵を集めて さらに前進の年に

上川農業改良普及センター大雪支所

支所長 川口 招 宏

輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、相次ぐ台風の襲来による豪雨災害、秋の早い積雪など、大きな被害や影響が発生し、ご苦労の多い年となりました。被災された地域の方々にお見舞い申し上げ、通常どおりの営農活動が一日も早く取り戻せることを願っております。

さて、日本全体が高齢化に向かう中、農産物の生産に従事する高齢者の方は一般の方に比べて医療費が2割下回り、健康寿命が長いことが推察されますが、農業者の7割が60歳以上となっています。また、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、24年後には高齢化率が40%に達します。

さらに、一世帯当たりの家族数が減少傾向で北海道では単独・夫婦のみ世帯が約74%と減少が続き、年金生活者の増加や年金支給の減額など農産物の生産側と消費側の双方に様々な構造変

化が顕著化することも考えられます。

国内情勢の変化に加え、農畜産物流通の国際化は少なからず進むことが予想され、国際競争を余儀なくされる場面も想定されます。ICT技術の導入を含めた担い手不足の対策や省力化栽培への移行、経営の多角化による安定経営など、今後に向けての経営戦略が数多く提案されています。しかし、その対策を実行・実現するための土台づくりが不可欠と言えます。その土台とは、「経営判断ができること」です。

経営は継続した「投資」「回収」の仕組みとその活動と言われています。農産物を生産するために投資（機械費、人件費、肥料などの直接費）した際、どれだけ回収できたかということですが、収量が上がらなければ経費を検討する。経費が下がらなければ収量増を目指す。この検討を進めるためには「数字」が必要となります。

数字を利用した経営戦略を立てる際

は、経営のパートナーである女性農業者の存在が大きな力となります。経営者と一緒に営農活動をしている女性農業者でなければ知り得ない情報が沢山あると思います。

各地域の篤農家とされる方々は、実績数字の分析に基づいた改善策を営農計画に反映し、営農期間中に修正しながら営農活動を実践している事例が多くを占めます。その際、計画作成から具体的に女性農業者が関わっていることも特徴といえます。

今後、生産や消費環境がどのように変化するのか非常に不透明な状況に加え、気象変動がもたらす農業災害の増加など安定経営に向けた判断はさらに困難性が高まっています。自己の経営把握の精度をさらに一歩進め、足腰の強い経営体さらに近づく取り組みをお願いしたいと思います。

本年が皆さんにとって良き一年となりますことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々トピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

HBCラジオ「秋の恵みに感謝カンゲキ！北海道農業応援スペシャルー」(11月3日)を通して、農業の魅力を一日中発信し続けました。



寄せられたメッセージは4,566件。

内田副会長がグリーンツーリズム等についてお話をされた、カーナビラジオ公開生放送には、のべ400名が来場と、大盛況。

スマートフォンアプリ「JA2MP」では、道内の生産者や直売所を巡る中継キャラバン等の期間限定お宝画像も発信。地域との繋がりが感じられるサポーター550万人づくりへの貴重な一日となりました。



JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として「農業経営フォーラム」を開催。

「あぐり王国」の森崎博之

氏が所属する㈱クリエイティブオフィス キュー 鈴木代表に「道内農業の魅力の再発見と発信」を、学習院女子大学 江口名誉教授に「道内農業に求められるマーケティング発想」を講演頂き、参加者からは「農業経営のヒントを得た」「農業の魅力を探求する姿に感銘を受けた」等好評を頂きました。

ホクレン

全道のホクレンSSで平成28年7月～9月に展開した

「2016『ラブ&ハート』チャリティキャンペーン」に寄せられた募金と

一部売上の、総額300万円を北海道社会福祉協議会へ寄託しました。今年で35回目の当キャンペーンは、社会貢献活動「ホクレンシーズプロジェクト」の一環。

道内約780の児童保育施設に、絵本や文学書の購入費用としてご利用いただけます。



JA共済連北海道

生命共済と傷害共済で、入院・通院共済金をご請求していただく場合、診断書取得・提出をいただいておりますが、所定の条件を満たせば「治療報告書制度」による自己申告と領収書提出のみで共済金をご請求いただけます。

病院で診断書を取得する手間や費用負担も無くなり、共済金ご請求までの時間が短縮できるメリットがございますのでご利用ください。ご利用条件については、ご加入先のJAへお問い合わせください。

JA北海道厚生連

平日に時間がとれない方へ、完全予約制の土曜日健診を開始しました。

【旭川】毎月第2・4土曜、土曜ドックを実施。(男性対象・各種オプション検査可能) 随時予約受付中ですので、お電話でお問い合わせください。(TEL 0166-33-7171)



【札幌】毎月第2土曜に、脾臓・胆のうドックを実施中。(TEL 011-251-5713)

【帯広】オプション検査「脳ドック」を平成29年1月より毎月第2土曜に実施いたします。(TEL 0155-24-4161)

焦点 FOCUS

TPP国会承認に警鐘 発効しなくても「極めて危険」

年が明けてもどうしても見過ごせない出来事は、昨年12月9日参議院TPP特例委員会本会議でTPP協定案及関連法案が賛成多数で可決成立したことである。これにより日本国内での批准手続きが完了した。

JA北海道グループは、平成22年に日本が参加表明をして以降、道内経済・消費者・医療・労働・1次産業などオール北海道でTPPは国民の生活に大きな影響を及ぼす問題であることを強調し、持続可能な北海道農業が図れるような強力な運動を展開してきた。

しかしながらTPPに対する生産者の不安は何ひとつ払しょくされておらず、国民の求めている十分かつ丁寧な国会審議よりも日本における批准手続きを優先した政府・国会の姿勢は、甚だ残念でならない。米国の次期大統領はすでにTPPの脱退を表明し、発効のメドも立っていないことから、今後は日米での2国間交渉や日EU・EPAなど他の貿易交渉が加速すると想定される。今後の成り行きに注意をしなければならぬが、JAグループとしては生産者の営農と生活を第一に守ること、持続可能な北海道農業の確立を全力で行うことを確認している。

先月9日、慶応義塾大学の金子勝教授の講演が札幌市内で行われた。

同氏は、TPPの内容を国会で通すということは以後、あらゆる貿易交渉がこれをベンチマーク（指標）にして、それ以下になるように交渉が進められることであり、これは非常に深刻な問題と指摘。「米韓FTA」では一度批准した後にアメリカ議会が再協議を求め、結果的に豚肉農家は壊滅的な打撃を受けた。またISD条項を適用した米国の投資ファンドによる韓国政府に対する5,000億円の賠償請求が行われているという実態が報告されている。

農業に限らず製造業もサービス業も金融も深刻な打撃を受けている。国会承認はそのようなことを「受け入れOK」と容認しているとし、交渉参加国の議会はどれも批准していないのに、なぜ日本だけが急ぐのか理解出来ないと諦め括った。



主力の美瑛産小麦 施設増強に臨時総代会承認

平成30年を目標年度とする小麦の生産面積は3、107畝（種子含）をめざしており、経営安定対策に関連する直接所得と連動しています。26年以降の作付は3、200畝台を超え、作付占有率は約28%と高くなっています。

生産者の小麦作付志向が高まる中での28年8月の連続した台風は美瑛町を直撃し、水田や畑作物等を冠水させました。当JAにおいては穀類乾燥調製貯蔵施設類が浸水被害を受け、深刻な打撃を被ったところです。

同施設の北側の受入口ホッパーは1番から5番まで浸水を受けたほか、受入麦類の搬送過程で地下部を通しての設備が浸水した経過に

あります。

この施設は生産調製施設の性格ももつことから組合員経済への影響を最少限に抑えるため、復旧に努めてきたところです。被害に遭った施設は昭和44年の第1次構造改善事業によるもので、都度増強を繰り返して来たところですが、この度台風9号による被害対策に係る国の措置で「強い農業づくり交付金」による施設整備（取得）が可能となり、特例対策による事業実施となりました。

施設の復旧を早期に図るとともに工事後の有効活用と併せ、動力費等の節減をめざしながら施設利用負担の抑制に向けた内容で

総代会では書面による施設取得

が圧倒的な多数で認められ、当JA総代会議事運営規程に従い書面議決の賛否確認の上、賛成多数で提出議案が可決されました。

なお、固定資産の取得に係る承認内容は別表の通りです。

事業名	強い農業づくり交付金 (平成28年度台風被害対策)
事業内容	穀類乾燥調製施設工事 (美瑛町大町4丁目)
事業量	荷受設備5基 乾燥設備7基 調製設備5式他
事業費	1,378,855千円

新年の
ごあいさつ

若い力で 広げよう

協同の輪

絆を強く 青年組織の 役割発揮を



青年部部長

中野 隼太

新年明けましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては、お健
やかに新年をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

また、旧年中は当青年部活動に対
し深いご理解と温かいご支援、ご協
力を賜りましたことを厚くお礼申し
上げます。

昨年を振り返りますと、順調な融
雪で春作業こそスムーズに進みまし
たが、6月からの低温・著しい気温
の変化や台風による被害、収穫時期
には早過ぎる積雪で、何かと天候に
左右され自然の厳しさを痛感させら

れる一年でした。

さて、我々青年部の活動と致しま
しては、研修会や視察研修などで農
業に関する視野を広げ、運動会・交
流会では、部員同士の親交を深めて
きました。

また、活動の一つとして6年ぶり
に中古農機具展示即売会を開催し、
農機具の有効利用や組合員の皆様に
青年部員を知ってもらえる機会を作
ることが出来たと感じています。

このような、JAや美瑛町農業発
展、地域活性化のための活動こそが
青年部本来の役割だということを今

一度念頭に置き、今後の事業運営を
進めていきたいと考えます。

最後になりますが、大変不慣れな
青年部運営で、迷惑や不快な思いを
させてしまったことがあったと思い
ますが、それを反省しつつ今後の青
年部活動や地域発展のために頑張っ
ていきたいと思えます。これからも、
ご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお
願いし、新年のご挨拶に代えさせて
いただきます。本年もどうぞよろし
くお願い致します。

活動体験を 地域や家庭に



女性部部長

坂田 友子

新年あけましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては健やか
に新年をお迎えのこととお慶び申し
上げます。

日頃より不慣れな私にご支援ご協
力をいただいております。部員、役員、
事務局の皆様感謝申し上げます。

昨年は複数の台風が北海道に上陸
する異常な気象で、美瑛町でも水害
により、浸水や洗掘による農地の被
害、作物の被害、JAの施設も浸水
するなど被害にあわれた方々には心
よりお見舞い申し上げます。また根
雪が10月末と早く、農作物の収穫や
後片付けに大変苦労された年になり
ました。

そのようなか、女性部活動を振り
返りますと様々な体験をさせていた
できました。

7月の町外研修では劇団四季札幌
公演「WICKED」の観劇を実施し、
多くの部員の皆様に参加していただ
きました。10月には「かみかわ秋の
大収穫祭」で、カレー作り、農産物
の販売PR、そして「おにぎりを握っ
てギネス記録への挑戦」など初めて
の経験をさせていただきました。10
月末に愛別町で開催された管内女性
部Bブロック研修会では「軽トラマ
ルシエによる町おこし」と題した剣
淵町のVIVAマルシエ代表の高橋
朋一様の講演で、軽トラマルシエが

出来るまでの経緯などからあきらめ
ないでやり通すことの大切さを教え
ていただき、午後はキノッピー人形
劇団による人形劇鑑賞と楽しいひと
ときを過ごしました。

11月に行われたJA北海道女性大
会・家の光大会では「エンディング
ノートの活用について」という講演
で今までの自分の生き方を振り返っ
て、これから自分がどのように生き
ていくかということを前向きに考え
てみようと思えるお話でした。

家の光記事活用体験では記事を参
考に活動の輪が広がっていることを
知りました。また全道各地から参加
された女性部員の方々と交流を深め

活 フ ト ケ チ 動 オ ス ツ



多彩な活動の糧を活かして



フレッシュミセス会
会長

藤原 よしみ

ることができ、女性部員の中には多くの正組合員がいることを知り、とても刺激的で驚きました。
12月の食育事業では普段接することの少ない小学生と触れあえたことはとても新鮮でした。

新年あけましておめでとござい
ます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心から
お慶び申し上げます。また、日頃
よりご支援、ご協力いただいております
事務局の方々に心から感謝申し上げ
ます。

青年あけましておめでとござい
ます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心から
お慶び申し上げます。また、日頃
よりご支援、ご協力いただいております
事務局の方々に心から感謝申し上げ
ます。

これから1月に行う冬期研修会では「調身体操」の講習会を予定しています。日頃酷使している肩や腰を「調身体操」で揉みほぐし、心も体もリフレッシュしながら和気あいあいと楽しく交流の輪を広げてほしいと

昨年夏は夏の猛暑からはじまり、台風直撃、例年になく早い降雪と、一年を振り返ると私たち農家にとって、試練が多い年に感じました。その仕事の合間にも、夏の研修ではプリザーブドフラワー作成、その後アスパルジユで美味しい料理を囲んでおしゃ

青年部と共に行った食育事業では、子どもたちと一緒に田植え、稲刈り体験。おにぎらず、豚汁、米粉プリンなどの調理実習。子どもたちと共に、一年間一緒に体験させてもらうと、色々学ぶことが多かったように思います。

青年部、フレッシュミセス会の皆様にも大変お世話になりました。残された任期を役員一同精一杯努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

日頃、畑で草取りや収穫と畑だけで仕事をしていると、狭い世界の中にいるような気がしてしまいますが、私たちが作った野菜が出荷され、そこからどうやって売ろうかと考えて

「いい作物を作るといこと、その先には色々な人が関わっているということ。だからこそ、良い作物を子どもたちや皆さんに、自信を持って提供できるように私も一生命頑張りなくてはいけない」そんなことを食育事業で感じ、また私自身も成長させてもらうたように思います。

最後にありますが、今年が皆様にとって良い年になりますようご祈念申し上げます。

今後のフレッシュミセス会の活動につきましても、今までと変わらず皆様からの温かいご支援、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。
終わりにになりましたが、残りわずかな任期を役員一同、皆様のお力をお借りしつつ務めさせて頂きたいと考えております。
本年が皆様にとって輝かしい一年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

豪州の農業事情に学ぶ

多様化と国際化の中で地域の特色を活かした農業づくりが求められています。このほど当JAでは事業計画に従い役職員による海外の先進地農業の実情を学ぶ研修が行われました。豪州農業の実例から6次産業化を踏襲した美瑛農業への参考事例を紹介させて頂きます。



タスマニア州政府機関にて

道農産品と競合のタスマニア 信頼できる相手国、日本を評価

最初の訪問先ではタスマニア州政府機関のジョン氏の説明を受けました。タスマニア州では現在、1番伸びているのは観光事業で、2番目はテクノロジー関連事業だそうです。

農業関連で伸びているのは林業で、日本の企業とペレットの開発もしています。タスマニアの暖房の30%は再生エネルギーで賄われており、化石燃料に頼らな

い政策を基本にしています。

オーストラリア政府の日常的な取引において、日本はアジアの中で一番成熟した国であり、タスマニア州政府にとってそれは同じ認識としています。

農産物におけるタスマニアから日本への輸出品はたまねぎ、乳製品等で北海道とは競合相手です。タスマニアの面積はオーストラリア全体の1%に満たないものの、水が豊富にあるために農作物の種類も多く作付されています。

島内の灌漑システムには500億円以上のコストを掛けており、昔は作物を作れなかった地域でも作付が可能になりました。北半球と南半球の違いを利用し、チューリップをオランダに輸出するなど、気候や季節の違いを有効活用して輸出事業に力を入れています。

タスマニアの農産物はすべてが高品質ですが、賃金や税金がオーストラリアの中では安いなどの利点があるとのことでした。翌日視察予定のトマト農家があるペンフォートはタスマニアの中でも肥沃な土地であり、大学や大学の研究施設などもあるのでタスマニア農業のレベルの

高さを見ていただきたいと得意気に話していました。

年間通しトマト栽培

水耕栽培で集中管理

訪問したトマト農家では、1.1畝超の土地に2つの温室でトマト栽培を行っています。メインはチェリートマトで小玉トマトの方がサラダなどに使用するため消費者の使用量が断然多く、売り先はタスマニア島内の大手スーパー2社です。オーストラリア本島にも一部出荷しています。気温が高くなると温暖なため、トマト栽培に向けており1年を通して栽培しています。

ハウス内の温度管理や液肥の使用濃度はコンピューターで管理しており、農業は使わず天敵防除を行っています。自家選果のため、常時30人のスタッフがいます。その他、出荷最盛期は非常勤スタッフも必要とのことでした。

- 栽培方法 水耕栽培でココナツピートのスラブを使用(2年間)
- 平均収量 22ト(10畝当り)
- 販売価格 (1600円/200gパック) (17,600千円/10畝)

自己完結型の野菜農家

海外に積極輸出も

次にタスマニアで55年にわたって野菜栽培と出荷事業を営む兄弟3人での家族企業を視察しました。

現在、80以上の農地所有者とパートナーシップ(集落営農的な考え)で播種・収穫は視察先の農家が行い、管理作業は

農地所有者が行う)を結んでいます。

栽培作物はニンジン・玉ねぎ・カブ・エシャロット・Gアスパラ・ブロッコリーなど多品目に及び、すべてを視察先の農場施設で選果・包装されオーストラリア国内や海外に輸出しています。

自家選果のため、常時140人のスタッフがあり、その他、出荷最盛時にはニンジンの収穫で220人以上を必要としています。タスマニアには農協のような農産物を取り扱う会社がないため、自己完結型となっています。

○スタッフ給料(時給20ドル以上(会社負担も含めると25ドル以上となる)

○主な作物の反収(ニンジン10ト(200畝で20,000ト)たまねぎ10ト(100畝で10,000ト)を取り扱う

○農地価格 30万円(10畝当り)

医療用の大麻栽培

商業化に向け盛んな研究

タスマニア大学農業施設は学生の研究などの実践農場で、視察先以外に5件の施設等がタスマニアにあり、数年間に大学と州政府で5億円ずつ支出し、総額70億円のプロジェクトを推進しています。

tia(タスマニア大学の農業課の部門)とつづ組織を運営して、130人の職員で200件のプロジェクト(ワールドクラス)の研究を行っています。

研究内容は植物の生育・管理・種子の開発等から商業化(マーケティング)に

向けた取組みの研究を実施しており、現在、特に力を入れているのが、分子細胞学とロボットなどを使用した作業の効率化による人件費の抑制を図る研究です。

その他、ケシ（医療用大麻）などの栽培と商業化に向けた研究や、ニンジンなどの加工品の商業化に向けた研究も行い、この研究農場でも灌漑施設を装備して有効利用に向けた研究を行っています。

6次化で

加工品販売も手掛けて

農地面積が104畝でリンゴとサクランボを作付するリンゴ果樹農家で、6次化によるジュースやサイダー、リンゴ酢などの自家生産を行い、観光と輸出を含めた経営をしています。

ここは4代続いている果樹園で、昔はリンゴだけだったものの、あまり儲からないためサクランボを手掛け、現在は輸出向け（アジア圏）の出荷が多くなっています。

歴史を振り返ると、1990年代はニューヨークと、中国への輸出競争が激しかったため、リンゴジュースを造るようになり、加工することによって2級品の使用や季節による収入の不安定さも解決できました。現在、リンゴは加工専用品種（サイダー向け）を新しく定植し、2007年に現在の場所に加工場を作って観光客への対応もしています。

○昨年の収穫量〜リンゴ 2,000ト、サクランボ170ト（すべて中国へ輸出）

タスマニアにも農場の販売物件 農地処分し豪州本土に

施設野菜農家セール物件視察としてトマトとイチゴの水耕栽培農家の売物件を視察しました。売主の子どもたちが全員成人してオーストラリア本土にいるため、農地等を処分して引越したいとのことでした。数年前まではタスマニアの大スーパーと出荷契約をしていたものの、現在は売却予定のため直売所等で販売をしています。牧草地も以前は作付していましたが、今は地域の酪農家へ賃貸しているとのことでした。

イチゴとトマトをごちそうになりましたが、イチゴは非常に甘くおいしかったです。施設は古いですがハウスはしっかりしているので、まだまだ使用可能と思います。また、住宅はモダンで広く、庭も整備されており、展望もすばらしい景観でした。

○所有面積〜12.5畝 ハウス面積50㎡
その他12畝（牧草地）
○売却価格〜80,000千円（895,000ドル）

ここにも 忍び寄る中国資本

タスマニア州政府農水省視察では、タスマニアに来て農業をやりたい人向けのプレゼンテーションを聴講しました。タスマニアの土地面積700万畝のうち、農地は210万畝を占めています。

人口は50万人と少ないため、海外向けの品目を重視して輸出していますが、タ

スマニアにおいても農業者人口は減少しており、規模拡大を図っているとのことです。

また、オーストラリア政府としては海外資本の導入を歓迎しており、現在、オーストラリアで一番大きな農業経営は中国資本の酪農経営だそうです。タスマニアは地区によって、雨量が400mm〜3,000mmと大きく違うため、国及び州政府はタスマニアの灌漑設備に毎年10億ドル以上を10年かけて整備しています。また、タスマニアは気温が安定しており、最高気温は30℃、最低気温はマイナス2℃と温暖で涼しい地域のため農業に適しています。

先進的な農業実務実習 美瑛の担い手も受け入れ可能

タスマニア州農業専門学校の間で、タスマニアに13キャンパス130学科があり、28,840人が受講、外国人も受け入れ可能で日本人もいるそうです。本人の技術レベルに合わせて、どのレベルからでも学習が可能なので、初心者から専門分野まで受講できる仕組みとなっています。学習内容は農業実務実習からビジネス実習（マーケティング）まで可能であり、学校が農場を持っているため、新規就農を希望する方の実習もできます。

講師についても実際に農業経営をしている方に先生をお願いしているので、現実と問題点、現在の最先端技術レベルの習得が可能です。

本人が望めばタスマニア大学への編入

も可能です。また、オーストラリアで仕事をしようとする方は資格も取れるため、受講する人が多いとしています。

美瑛町の農業後継者や担い手の研修を冬期に行うとすれば、この専門学校による研修が現実味を帯びていると感じました。

畑作の農地価格

20〜30万円（反当り）で

肉牛と畑作農家のセール物件視察では、肉牛の肥育と畑作複合経営農家の売物件を視察しました。経営主は留守だったため、不動産業者のセールスマンが対応しました。売却予定のために肥育牛の頭数も少なく、農機具についても非常に古い機械しかありませんでした。また、住宅も古く、庭もあまり整備されていませんでした。

畑作は麦を作付していて、反収は1トを超えているとセールスマンは言っていました。また、牧草地を見て周りましたが水はけが悪く地力のある土地には見えませんでした。

タスマニアは広陵地帯が主となる美瑛町とよく似た傾斜が多く見られましたが、この農場は平らな土地が続いており、作業効率は良いと感じました。また、視察先の畑野菜農家や施設野菜農家で聞いた農地価格は反当り20万円〜30万円でしたので、価格的に安い（反当り11万円）と感じました。

○所有面積〜150畝（放牧地・畑）
○売却価格〜1億5千万円

地域の 学校紹介



雨の大運動会

美瑛町立美沢小学校

校長 成田 光 弘



本校は、美瑛市街地より白金温泉に通じる道道沿いに広がる畑作地帯にある。校地は約5ヘクタールを有し、種々の樹木が茂る見本林や、整備された前庭、広いグラウンド、築山などがあり、自然環境に恵まれている。また、白金地区には、「青い池」があり、最近人気の観光スポットとなつてゐる。このほか、「皆空窯」という窯元が有り、本校児童は年に一度、陶芸家の南正剛・泉御夫妻に御指導いただいている。

白金・美沢地区の戸数は約130戸、

多くは明治30年代に本州各地より入植した開拓民の3代目が農業を継ぎ、安定した経営をしている。近年は新規就農もあり、さらにペンション、レストラン、インターネット販売など非農家の住民も増えている。古くからの住民と新しい住民が互いを尊重し合いながら暮らしている。保護者は学校教育に関心が高く、学校行事や参観日、PTA行事等への参加協力度は絶大である。また、地域も美沢少年団、スポーツ少年団、十勝岳愛護少年団活動を通して、心豊かなたくましい子どもに育ててほしいと願っており、活動への協力を惜しまない。

本校の児童は、全体的に明るく素直であり、恵まれた自然環境の中で伸び伸びと活動しており、元気で活発、素直である。縦割り班活動や少年団活動等を通して、協力性や思いやりの心も身につけてきている。また、保護者の働く姿をいつも見ており、勤労を厭わない児童が多い。学校教育目標は「心身ともに健やかに、明るくかっこいい子どもを育てる」で、「かっこいい」「やっかい」「たくましく」を合言葉にしている。

「かっこいい」では、「わかる授業の実践」と、基礎基本の確実な定着」を目指している。「シンプル・ビジュアル・シェア」を視点にわかりやすい授業づくりについて研修を深めている。また、iPadの導入をはじめ、ICT機器の充実が図られ、活用してきた。長期休業中には、町の学習ルームの取り組みへの参加を奨励することで、学習時間の確保と充実を図ってきた。

「やっかい」では、心の教育と道徳的な実践力の育成を目指した。「豊かな心」

の育成に取り組み、道徳的な価値基準をしっかりと教え、考えさせ、日常の場でそれを生かすことができるよう、指導してきた。また、農園活動、清掃活動、交通安全キャンペーンなどの体験学習を通し、道徳的な感性を養った。「たくましく」では、マラソンやクロスカントリースキーに取り組みなどして、体育活動の日常化を図ってきた。また、各種安全教室にも取り組んでいる。美沢には教育資源が豊富にある。それらに触れる中で、子どもたちの豊かな情操が養われている。



クロスカントリースキー



交通安全
キャンペーン



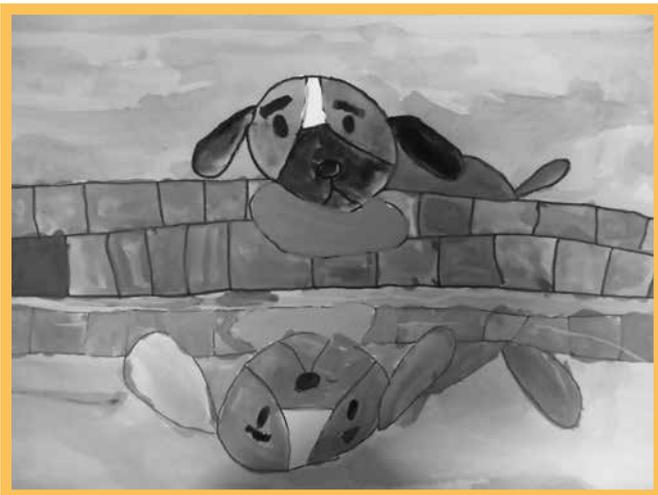
児童作品展



1年 大場夢空「私の顔」



2年 本山維芯「学芸会の思い出」



3年 三上梨杏「肉をくわえた犬」



4年 大場陸斗「ティラノザウルス」



5年 中西奏人「カイロ団長」



6年 照本安寿「顔のお皿とフォークとスプーン」

農業者の皆さまへ 農業者年金のご案内

老後生活の備えは十分ですか？農業者年金は、国民年金の第1号被保険者（保険料納付免税者を除く）で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方であれば、どなたでも加入できます。

※加入される方は、国民年金の付加年金（付加保険料月額400円）への加入も必要となります。

農業者年金のメリット

少子高齢化時代に強い積立方式の年金

公的年金ならではの税制上の優遇措置

終身年金で80歳までの保証付き

農業の担い手には手厚い政策支援

詳しくは窓口までお問い合わせください。

窓口 営農部 ☎ 68-7014

JA Biei Information



営農研修会は 1月27日（金）

今年度の営農研修会は、水稻・畑作生産者の方を対象に1月27日（金）に開催します。詳細は後日、FAXおよび農協無線でご案内致します。多数のご出席をお願い致します。

◆開催日 平成29年1月27日（金）

◆場所 JAびえい3階大ホール

窓口 営農部 ☎ 68-7014

1月のパソコン講習会について

◆日程◆

種類	月日	時間	内容	講師	場所
ソリマチ簿記 (パソコン)	1月16日(月)	① 9:00～11:00 ② 13:00～15:00	・ソリマチ簿記の使い方や勘定科目の設定など ・次年度更新の行い方 ・クミカンデータの転送の仕方	青申会	JAびえい 2階 PC研修室
	23日(月)				
	24日(火)				
	30日(月)				
	31日(火)				

◆持参するもの◆

自分のパソコンで講習を受けたい方→**本体を持参してください**

ソリマチ簿記を受講希望の方→

伝票入力の実習も行いたい場合は、今年のクミカン報告書と減価償却資産台帳を持参して下さい。

窓口 営農部 営農支援課 ☎ 68-7014

年始のJA業務時間のご案内

		1月1日(日) ～3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)	7日(土)
金融店舗窓口		休業	9:00～16:00			休業
A T M	ホクレンショップ支店	休業	9:30～18:00			
	金融店舗	休業	8:45～17:00			
給油所	北町	休業	8:00～17:00			8:30～19:00
	大町セルフ	24時間営業				
上記以外の部門		休業			仕事始め 8:30～16:00	休業

年始休業中の緊急対応

JA業務につきまして、緊急な業務対応は次の通り実施いたしますのでお知らせします。

項目	連絡先
JA共済事故受付センター	0120-258-931
灯油・プロパン	92-2157

窓口 総務部 ☎ 92-2111



ご協力
 ありがとう
 ございます

新年特集号
 表紙の写真

本誌 2017 年新春特集号の表紙を飾って頂いたのは、「下宇莫別へき地保育所」の園児の皆さん 18名です。

元気いっぱいながらも、先生のお話をちゃんと聞く、利発な園児さんたちでした！頑張ってくれた酉（とり）の絵が、とっても可愛らしいですね。

ありがとうございました！

4メーカー
全車種対象特別企画

春の新車フェア

2017年1月1日～3月31日ご契約分まで

TOYOTA SUZUKI
SUBARU MITSUBISHI MOTORS

新車ご購入で
 もれなく
 プレゼント

家族で嬉しい1年10ヶ月の成約は選んでほしいの。

1. 新車購入で30,000円相当の現金バック

2. 新車購入で3万円分の旅行券

3. 新車購入でJCB商品券(15,000円分)またはセレクト・フォーユー(10,000円相当)

4. スクワットサポート 折りたたみ自転車

5. 新車購入で掃除機・洗濯機・電子レンジの3品セット

6. 新車購入で高圧洗浄機

7. インテリアハンディクリーナー

8. 新車購入で防災セット(非常食+救急パック)

9. 軽トラック新車ご購入の方はスタッドレスタイヤ4本(ホイール付き)をプレゼント!

さらに 新車購入で
 エンジンオイル
 フォアプレゼント!

マイカーローン

JAバンク

グルマスタ

全道農業協同組合

JAバンク

JA共済

ホクレン

窓口 研修センター ☎ 92-0588

FARM LAND からのお知らせ

KTC 工具セット 12.7sq.

工具 41 点入ってこの価格!!

倉庫やトラクターにセットでおいてみてはいかがですか?

¥39,800 (税込)



農業資材カタログについて



12月に配布させていただきました。ただいまファームランド今年度は昨年よりページ数も増えて商品も充実。新商品からヒット商品いろいろ掲載されています。今年の営農に役立ててください。取りまとめ期間は3月31日までです。

合同展示即売会の開催について

昨年まで各地区で行っていた農作業衣・日用品即売会を本年より廃止させて頂くこととなりました。それに伴いまして、JAびえい3階大ホールにて合同の農作業衣・日用品の展示即売会を行います。

日程 1月18日(水) 19日(木)

時間 両日 9:00 ~ 16:00

皆様のご来場をお待ちしております

尚、満値喜市・交換会を3月7日(火)・8日(水)に行う予定です。

ファームランド
FARMLAND JAびえい店

☎ 92-3455 FAX92-3488

窓口

平成29年度

免税軽油・農業労災保険の 受付が始まります

農業機械課では、平成29年度免税軽油申請と、農業労災加入手続きを行いますので、お早めの手続きをお願い致します。

■申請手続き

免軽必要事項

平成29年度の営農計画書に基づく作物別作付面積書

労災必要事項

平成28年度分使用労働者数及び支払賃金、平成29年度支払予定賃金

持参するもの

印鑑、標識交付証明書(トラクター等入替増車の方)

受付期間

平成29年1月12日(木)~1月20日(金)

受付時間

9:00 ~ 16:00

受付場所

研修センター会議室

※近年、免税軽油の不正利用防止の為、使用者への調査が強化されております。

免税軽油使用者証に未記載の機械への使用等、不正使用が発覚した場合は、罰則(免税証の不交付や過去三年に遡り返納等)が生じますのでご注意ください。

※毎年、多くの農作業事故が発生しております。万が一の事故に備え、未加入の方はこの機会にぜひ農業労災に加入しましょう。

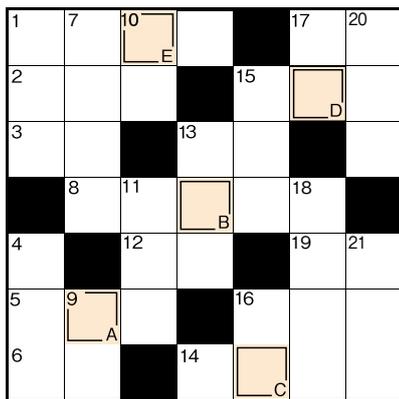


窓口

研修センター

☎ 92-0588

頭の体操 クロスワードパズル



二重マスの文字をA→Eの順に並べ
 てできる言葉は何でしょうか?

▶横のカギ

- ①「福は内」と言いつつ行います
- ②こつこつと——よく作業を続けた
- ③早起きは三文の——
- ④攻撃の反対語
- ⑤分別して回収に出します
- ⑥人間の犬歯の別名
- ⑦進化——。感情——
- ⑧海水から作れる調味料
- ⑨よそ行きではない服装
- ⑩ワインボトルの栓によく使われる素材
- ⑪文末に付ける「。」のこと
- ⑫仙人はこれを手にした姿で描かれることが多い
- ⑬生涯で一番高い買い物だとよくいわれます

▼タテのカギ

- ①うそから出た——
- ②1歳違いの兄弟姉妹のこと
- ③顔の整った人が好みな
- ④矢をつがえます
- ⑤暖炉にくべる物
- ⑥煮物をじっくり煮込むときの火加減
- ⑦会社の運転——を調達した
- ⑧ワカサギ釣りの際に穴を開けることも
- ⑨酔っぱらいが巻きます
- ⑩長寿を象徴する鳥
- ⑪駅の——で新聞を買った
- ⑫ニコリと笑うとペコリとへこむ
- ⑬役者が観客に見せるもの

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分(全農)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

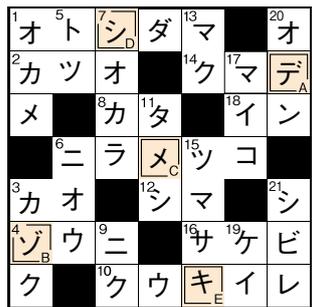
【応募方法】
 ●ハガキ

おもち
 うら

〒071-0298
 美瑛町
 中町2丁目6-32
 JAびえい「丘の大地」
 クイスイ係

①クイスイの答え
 ②今月号の良かった内容
 ③取り上げて欲しい内容
 ④その他ご意見ご感想など
 ⑤住所氏名年齢電話番号

●F A X 0166-92-2977
 ●Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp
【締め切り・発表】
 毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。



☆先月号のこたえは「アズメシキ」でした

☆当選者は
 守野よしさん
 丹野子さん
 佐藤信磨さん
 石崎蓮翺さん
 高橋利律子さん

以上の5名です。
 おめでとございます。

1月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

<p>おひつじ座 (3/21~4/19) 【全体運】ちょっとしたことで、やる気がダウンしやすい月。気分が流されず、計画性を大事にして。気分転換には散歩へ 【健康運】不規則な生活の改善を。体調に好影響大 【幸運を呼ぶ食べ物】 伊予カン</p>	<p>しし座 (7/23~8/22) 【全体運】物事を深刻に受け止め過ぎてしまう時期。お気楽に構えるのがベスト。玄関に白い花を飾ると運を呼び込めます 【健康運】まめに動くことで、健康体に近づけそう 【幸運を呼ぶ食べ物】 ナバナ</p>	<p>いて座 (11/23~12/21) 【全体運】プライベートの充実を図りたい期間。趣味や得意なことに意識を向け、楽しむとグッド。読書からも発見あり 【健康運】うっかりしがち。小さなけがに注意して 【幸運を呼ぶ食べ物】 ワカサギ</p>
<p>おうし座 (4/20~5/20) 【全体運】行動力が高まり、未体験ジャンルにも果敢に取り組めそう。思い切って動く幸運を呼び込めるので、積極的に 【健康運】同じ姿勢を続けず、血行促進を図って 【幸運を呼ぶ食べ物】 セリ</p>	<p>おとめ座 (8/23~9/22) 【全体運】レジャー運が活性化。気の合う仲間たちとにぎやかに過ごせば、英気を養えるはず。ドライブや旅行も良い刺激に 【健康運】日々の疲労をためず、笑顔をキープして 【幸運を呼ぶ食べ物】 タラ</p>	<p>やぎ座 (12/22~1/19) 【全体運】自分に自信が持てる星回り。どんどんアクションを起こして。過去にうまくいかなかったことにもリベンジ可能 【健康運】ますます。軽い運動が健康キープの秘訣(ひけつ) 【幸運を呼ぶ食べ物】 おから</p>
<p>ふたご座 (5/21~6/21) 【全体運】信ぴょう性の低い情報に惑わされがち。口コミやうわさには安易に飛び付かないこと。開運にはヒーリング音楽を 【健康運】ストレスを感じやすい月。笑いで発散を 【幸運を呼ぶ食べ物】 芽キャベツ</p>	<p>てんびん座 (9/23~10/23) 【全体運】思い込みが激しくなる暗示。独断で動くこと失敗するので、周囲の意見には謙虚に耳を傾けて。おっせいかもNG 【健康運】暴飲暴食は控えて。胃腸を休めると好転 【幸運を呼ぶ食べ物】 水菜</p>	<p>みずがめ座 (1/20~2/18) 【全体運】ケアレスミスが増えそうなので、慎重に。慣れた作業ほど確認が必須。気力アップにはフットマッサージが有効 【健康運】うがい励行を。積み重ねが好運の呼び水 【幸運を呼ぶ食べ物】 アンコウ</p>
<p>かに座 (6/22~7/22) 【全体運】勢いのあるときと落ち込んだときの差があり過ぎ。素早い気持ちの切り替えが運氣回復の鍵。芸術鑑賞で気晴らしを 【健康運】スポーツにつき。腕が上達しやすい 【幸運を呼ぶ食べ物】 あんこ</p>	<p>さそり座 (10/24~11/22) 【全体運】スムーズに人脈を広げられる予感。初対面の相手にも気さくに声を掛けてみて。新しい習い事を始めるのも◎ 【健康運】良好。特に問題なく、元気に過ごせます 【幸運を呼ぶ食べ物】 ハクサイ</p>	<p>うお座 (2/19~3/20) 【全体運】知的好奇心が高まる兆し。カルチャーセンターに通ったり、講演会を聴いたりするのが最適です。映画鑑賞も吉 【健康運】過労は×。心身の十分な休息を忘れずに 【幸運を呼ぶ食べ物】 長ネギ</p>

ぐっすり眠って 健やかに

「快眠」のために知っておきたいこと

睡眠は人生の3分の1を占める大切な時間です。その眠りの質が低いと、日中生き生きと過ごすことができません。そこで、深い眠りで健やかな毎日を送るためのポイントを探ってみました。

〔監修〕
睡眠改善インストラクター 矢部亜由美 (やべあゆみ) さん
睡眠に関する正しい情報を発信し、眠りに関するのアドバイスや相談に応じている。講演経験も多数。現在は寝具メーカーのロフテー株式会社 (<http://www.lofty.co.jp/>) に勤務。

生活スタイルの中で気を付けたいのは「体温リズム」です。人の体温は朝方が最も低く、目覚めとともに上昇し



★
「一日の「体温リズム」が大切
冬場は入浴で体温を上げる

健康的な生活を送る上で快眠はとても大切です。でも、あなたは次のような経験をしたことはありませんか。

- 布団に入ってもすぐに寝付けない。
- 夜中に目が覚めると、その後眠れなくなる。
- 朝の目覚めがすっきりとしない。
- 日中に眠くなる人が多い。

こうした悩みを持つ人は多く、現代人の約半数が十分な睡眠を取れていないといわれています。では、どうしたらこのような悩みを解消できるのでしょうか。そのポイントは大きく分けて二つ。一つは「生活スタイル」、そして二つ目は「睡眠環境」です。

で、夕方から夜にかけて最も高くなります。その差は約1度で、上がった体温が下がるときには人は眠気を感じる仕組みになっています。

しかし、年齢を重ねると夜間の体温が下がりにくいことに加え、日中の活動量が低下するため体温のメリハリがつきにくくなります。一日の中で体温差をつくるためには、朝の光を浴びてから朝食を取り、昼間は体を動かして体温を上げることが大切です。とはいえ、寒い季節にはそれができない場合もあります。そんなときにお勧めしたいのが「入浴」です。

入浴をする上で気を付けたいのが「温度」と「タイミング」です。布団に入る1〜2時間前にぬるめ(40度以下)のお湯に15〜20分ゆったりつかると、スムーズな入眠が期待できます。41度以上の熱いお湯が好きな人は夕食前に入浴し、体温が下がるまでの時間を長くするように心掛けましょう。

入浴した後も手足が冷えてしまった場合は、もう一度手と足だけをお湯につけて温めると効果的です。指先や足先の毛細血管が広がり、体温を放熱しやすい状態となって、体の深部温度を下げるすることができます。

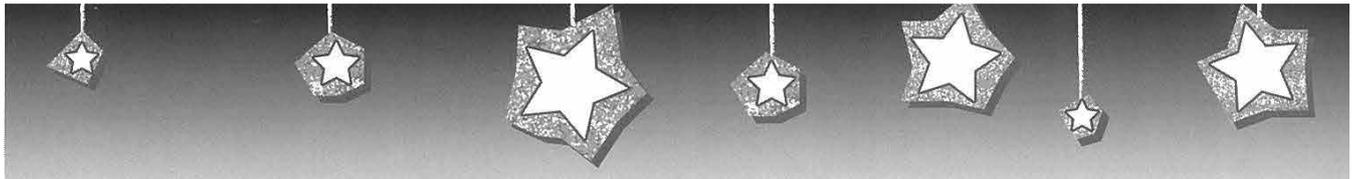
★
入眠後約3時間の熟睡が重要
高齢者にお勧めの「昼寝」

人は眠っている間に「ノンレム睡眠(脳の眠り)」の深い眠りと浅い眠りを何度か繰り返します。最も深いノンレム睡眠は睡眠の前半に集中して出現するため、床に就いてから約3時間熟睡することが重要です。もちろん、3時間程度の睡眠時間では不十分なので、個人それぞれに合った睡眠時間を確保することが必要です。

しかし、高齢になると十分な眠りが取れなかったり、十分に寝ていても昼間どうしようもない眠気に襲われることがあります。それを回避するために効果的なのが「昼寝」です。人間の体は午後2時ごろに眠くなるようにできているので、その前に15分程度(高齢者は30分程度)仮眠することで日中の眠気を防止することができます。ただし、疲れているときに完全に横になると深い眠りに入ってしまうため、机にうつぶせになるなどの姿勢で眠ることをお勧めします。

★
室内や布団の中の温湿度に注意
眠るときはゆったりとした衣服で

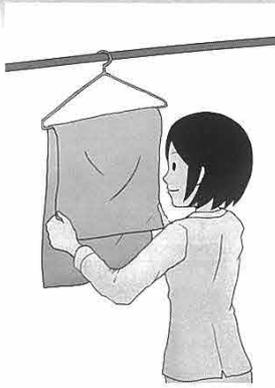
快眠のための二つ目のポイント「睡



眠環境」には、大きく「室内環境」と「寝床内気候」があります。

「室内環境」で重要なのは温度と湿度です。冬の寝室内の適温は16〜19度で、乾燥し過ぎないようにすることが大切です。加湿器がない場合は、部屋の中に絞ったタオルを1枚掛けておくだけでも違いますので、ぜひ試してみてください。また、カーテン越しに入ってくる「光」も眠りを左右します。寝付きの悪い人は遮光カーテンなどでしっかりと外部からの光を遮り、朝の目覚めが悪い人はカーテンを少し開けたままで眠るとよいでしょう。

「寝床内気候」とは、布団と体の間の湿度のことを意味しています。快適な温度は33度前後、湿度は50%前後です。一晩中体を温めると体温調整力を狂わせてしまうので、電気毛布を使用する場合はタイマーを使って温度が高くなり過ぎないように注意しましょう。時々布団を干したり、できるだけ吸湿性の良いシーツにするなど、寝具



の管理も忘れずに行っておきたいものです。

眠るときの衣服は、動きやすく寝返りの打ちやすい物を選びましょう。ジャージなどのスポーツウエアは縫い目が体に食い込んだり、ゴムの部分が体を締め付けたりするのでお勧めできません。ゆったりとしたパジャマなどを選び、厚着をしないようにすることが大切です。

掛け布団は、直接体に触れる部分に羽毛布団を用い、その上から毛布を掛けると、体温で温められた羽毛の温かさを外に逃がすことができます。毛布の肌触りを感じて眠りたい人は、襟元から肩まで掛ける毛布が便利です。

★ 楽な姿勢で眠るための「枕」は高さ・構造・素材の3点で選ぶ

枕は楽な姿勢で眠るために必要です。人間はリラックスして立ったとき、頭が少し前に傾いています。この姿勢を崩して寝ると、首の後ろが疲れるだけでなく、頭も安定せず、横向きになつたときは肩が痛くて眠れません。枕を選ぶときは、まず首のカーブに合った「高さ」の物を選ぶことが重要です。あおむけに寝たときは少し頭が前に傾くくらいの高さ、横向きになつたとき

には肩幅に合う高さが必要です。これを自宅で調節する場合は、タオルなどを使って首の当たる部分や枕の両脇をかさ上げするとよいでしょう。

次に大切なのが「構造」です。睡眠中は20〜30回の寝返りを打つため、あおむけでも横向きでも首や頭を支え、中身の片寄りが少ない構造が必要です。



枕の「素材」は人によって好みが違うので、そば殻、パイプ、羽毛など、それぞれの特徴や手入れ方法、耐久年数などを考慮して選ぶことをお勧めします。

以上、枕選びのポイントは「高さ」「構造」「素材」の三つ。最近ではデパートの寝具売り場や専門店に行くとともに自分合った枕を選んでくれるアドバイザーがいますから、実際に見て、試してみたいかがでしょう。

快眠を妨げるNGポイント

■就寝前のスマートフォン

スマートフォン（スマホ）やパソコンの光は眠るためのホルモンの分泌を抑えてしまいます。就寝1時間前にスマホ断ちをするだけでも寝付きや眠りの質が違ってきます。

■就寝前の食事

どうしてもおなかがすいて眠れないときはホットミルクや軽いビスケットを。食事が遅い時間帯になるような場合は、あらかじめ軽くおにぎりなどを食べておくようにしましょう。

■寝酒

お酒には入眠作用がありますが、入眠後の中途覚醒作用や利尿作用も働きます。夜中にトイレに行った後で眠れなくなったり、「ちょっと1杯」のつもりがつい2杯、3杯となり、それが原因でアルコール依存症になることも。晩酌として楽しむお酒は問題ありませんが、眠るためのお酒はNGです。

■食後のうたた寝

眠りを浅くしてしまう原因の一つです。うたた寝を防ぐためには入浴したり、歯を磨いたりするとよいでしょう。

初春を迎えまして 皆様のご多幸を お祈り申し上げます

- 稲作生産部会
- 麦作生産部会
- 豆作生産部会
- 豆採種生産部会
- 酪農振興部会
- 乳牛検定組合
- 酪農ヘルパー利用組合
- 酪農婦人部
- 馬鈴薯生産部会
- 種子馬鈴薯生産組合
- 北西地区生食加工馬鈴薯団地
- 大根生産部会
- 白金アスパラガス生産部会
- ニンジン生産部会
- 百合根生産部会
- とまと生産部会
- メロン生産部会
- 長葱生産部会
- 青年部
- 女性部
- フレッシュユミセス会
- 農業機械協議会
- 年金友の会
- 美瑛町報徳社

- 部長 長谷川 勝洋
- 部長 増山 敏一
- 部長 喜多 順宏
- 部長 松家 貴守
- 部長 畑中 裕之
- 部長 嵯峨 雅弘
- 部長 道藤 裕弘
- 部長 野田 美津子
- 部長 菅野 恵
- 部長 打田 佳史
- 部長 浦島 之樹
- 部長 永島 英樹
- 部長 横山 弘彦
- 部長 小原 和彦
- 部長 藤原 俊之
- 部長 中村 博之
- 部長 渡部 儀法
- 部長 安東 隼太
- 部長 中野 友子
- 部長 坂田 よしみ
- 部長 藤原 倉健
- 部長 沼倉 健三
- 部長 沼谷 規生
- 部長 谷口 規生
- 部長 浦島 規生
- 部長 社会 規生

(順不同・敬称略)



気をつけましょう

農作業 事故発生状況

(12月20日現在)

発生件数	0件(19件)	《19件》
負傷	0人(18人)	《19人》
死亡	0人(1人)	《0人》

()は28年度累計 《 》は昨年同期累計
 ※負傷者数は農業労災加入者統計より

こよみ

1月の主な行事予定

4日(水)	金融店舗・北町SS仕事はじめ
6日(金)	一般業務仕事はじめ
9日(月)	成人の日
11日(水)	青年部冬期研修会
12日(木)	長葱生産部会道外視察研修 (~15日)
16日(月)	女性部冬期研修会
20日(金)	とまと生産部会 50周年記念式典
26日(木)	JA青年部富良野沿線ブロック 冬期部員研修会

協同の ちから



- ◇貯金高 249億00百万円
- ◇貸付高 67億09百万円
- ◇出資金 11億10百万円
- ◇固定資産 40億28百万円
- ◇組合員数 正組合員 732人
准組合員 1,878人

※百万円未満四捨五入
(平成28年11月末)

編集後記

■一年の計は元旦にあり。古来より日本人が「今年こそはこんな年度にを過ごしたい」という想いが込められた諺(ことわざ)である。「お正月からお金を使わずにじっとしているもんだ」としつけられた世代も多いと思うが、今の時代に通用する話ではない。コンビニは夜通し営業・旭川市内の大手スーパーではBGMを店内いっぱい鳴らし、購買意欲を捲(まく)り立てる。生活のリズムが変わってしまっていることに気づかずに毎日の暮らしが過ぎて行く。昨年の農業界は一文字で「乱」と表現された。一方での世相は「金」である。政府与党に翻弄された一年でもあり、治まる予測もできないが、今年こそ願いを込めて「金」にあやかる美瑛農業を望みたい。